

山口県感染症発生週報

(第36週:平成23年9月5日～9月11日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

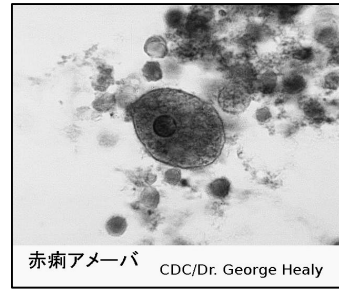
◆**結核**: 第24週追加:2例(いずれも山口)。第26週追加:1例(山口)。第28週追加:2例(いずれも山口)。第29週追加:1例(山口)。第31週追加:2例(いずれも山口)。第32週追加:1例(萩)。第35週追加:1例(岩国)。第36週:3例(柳井、周南、防府)。

【4類感染症】

◆**レジオネラ症**: 第36週:1例(宇部)。

【5類感染症】

◆**アメーバ赤痢**: 第35週追加:1例(長門)。



赤痢アメーバ CDC/Dr. George Healy

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆**RSウイルス感染症**: 増加傾向がみられていますので、今後の動向に注意が必要です。

◆**手足口病**: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに6週連続して減少し、その後2週連続してやや増加しましたが、今週再び減少しました。宇部以外の地域では警報レベルが続いており、過去4年間の同時期と比較しても多い状況です。

【警報レベル=宇部以外のすべての地域】※

◆**伝染性紅斑**: 過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。

【警報レベル=長門】※

◆**ヘルパンギーナ**: 今期は第28週をピークに大幅に減少し、第31週にすべての地域で警報レベルの開始基準値を下回りましたが、その後やや報告数が増加し、今週は先週と同程度の報告数です。

【警報レベル=萩】※

◆**流行性耳下腺炎**: 過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。

【注意報レベル=下関】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	34週	35週	36週	疾患名	34週	35週	36週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	29	27	33	ヘルパンギーナ	52	69	67
咽頭結膜熱	19	10	6	流行性耳下腺炎	48	45	60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	33	39	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	148	147	182	流行性角結膜炎	3	4	5
水痘	41	25	40	クラミジア肺炎	0	0	1
手足口病	299	315	241	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	27	23	28	マイコプラズマ肺炎	5	9	4
突発性発しん	50	47	43	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	7	0	4	8	1	1	12	0	0	33
咽頭結膜熱	1	0	0	2	1	2	0	0	0	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	4	0	3	0	15	4	2	8	39
感染性胃腸炎	31	2	1	24	10	48	46	10	10	182
水痘	8	4	4	7	0	3	11	2	1	40
手足口病	36	22	19	50	22	51	10	15	16	241
伝染性紅斑	4	4	0	5	1	3	4	6	1	28
突発性発しん	13	1	2	5	2	10	4	6	0	43
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	15	1	10	5	0	6	16	0	14	67
流行性耳下腺炎	38	6	0	5	0	6	3	2	0	60
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	0	1	1	1	0	0	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0